

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 7 年 7 月 2 日(2025.7.2)

【公開番号】特開 2025-60636(P2025-60636A)

【公開日】令和 7 年 4 月 10 日(2025.4.10)

【年通号数】公開公報(特許)2025-065

【出願番号】特願 2024-213040(P2024-213040)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/28(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 M 1/28 130

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 24 日(2025.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一つのポンプと、

第 1 の U F 治療処方と、該第 1 の U F 治療処方と比較してより長い持続時間とより低いデキストロース濃度とを有する第 2 の U F 治療処方と、該第 1 の U F 治療処方と比較してより短い持続時間とより高いデキストロース濃度とを有する第 3 の U F 治療処方とを含む限外濾過(「U F」)治療処方と、

前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方のうちのどれが特定の日付に実施されるかを示すスケジュールと、

所定の週について許容される U F 治療処方の変更の制限と、

30

を記憶するメモリデバイスと、

前記メモリデバイスと通信可能に接続された論理インプリメンタであって、

現在日付を決定または特定し、

前記メモリデバイスに記憶された前記スケジュールを用いて、前記現在日付に基づいて前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方のうちの一つを選択し、

前記スケジュールにより指定された U F 治療処方から変更された、前記現在日付についての前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方の選択に関する入力を、患者から受信し、前記患者により選択された U F 治療処方が、前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に代えて腹膜透析治療を実施するために使用された回数、に関するカウンタをインクリメントし、

40

前記カウンタが、前記許容される U F 治療処方の変更の制限未満であるかどうかを判定し

、前記カウンタが前記制限未満である場合に、前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に代えて、前記患者により選択された U F 治療処方に基づいて前記少なくとも一つのポンプを制御して、腹膜透析治療を実施する、

該論理インプリメンタと、

を備える腹膜透析システム。

【請求項 2】

前記論理インプリメンタが、ネットワークと通信可能に接続され、

前記論理インプリメンタが、

50

前記スケジュールを臨床医のコンピュータ、またはサーバから前記ネットワークを介して受信し、

前記スケジュールを前記メモリデバイスに記憶する、

請求項 1 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 3】

特定の日付についての前記 U F 治療処方を選択に関して前記患者から第 1 のカレンダー入力を受け付け、それぞれの特定の日付についての前記 U F 治療処方の前記選択の理由について前記患者から第 2 のカレンダー入力を受け付け、該第 1 および第 2 のカレンダー入力をネットワークを介して臨床医のコンピュータまたはサーバに送信するユーザインターフェースデバイスを更に備える請求項 1 に記載の腹膜透析システム。

10

【請求項 4】

前記論理インプリメンタが、

前記臨床医のコンピュータまたは前記サーバが、(a) 前記第 1 および第 2 のカレンダー入力の承認を受信したか、または (b) 前記第 1 のカレンダー入力の日付のうち少なくとも一つの日付についての前記選択された U F 治療処方の修正を受信した後に、前記ネットワークを介して前記臨床医のコンピュータまたは前記サーバから前記スケジュールを受信し、

前記スケジュールを前記メモリデバイスに記憶する、

請求項 3 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 5】

前記ユーザインターフェースデバイスが前記論理インプリメンタと通信可能に接続された、

請求項 3 に記載の腹膜透析システム。

20

【請求項 6】

前記論理インプリメンタが、

前記カウンタが、前記許容される U F 治療処方の変更の制限に達しているか否かまたは該制限を超えているか否かを判定し、

前記カウンタが前記制限に達しているかまたは前記制限を超えている場合に、前記患者により選択された U F 治療処方を使用する代わりに、前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に基づいて前記少なくとも一つのポンプを制御して、前記腹膜透析治療を実施する、

30

請求項 1 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 7】

前記制限が、1 週間あたり 2 以上の U F 治療処方の変更を含む、

請求項 1 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 8】

少なくとも一つのポンプと、

第 1 の U F 治療処方と、該第 1 の U F 治療処方と比較してより長い持続時間とより低いデキストロース濃度とを有する第 2 の U F 治療処方と、該第 1 の U F 治療処方と比較してより短い持続時間とより高いデキストロース濃度とを有する第 3 の U F 治療処方とを含む限外濾過 (「U F」) 治療処方と、

40

前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方のうちのどれが特定の日付に実施されるかを示すスケジュールと、

所定の週または月について許容される U F 治療処方の変更のアラーム閾値と、

を記憶するメモリデバイスと、

前記メモリデバイスと通信可能に接続された論理インプリメンタであって、

現在日付を決定または特定し、

前記メモリデバイスに記憶された前記スケジュールを用いて、前記現在日付に基づいて前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方のうちの一つを選択し、

前記スケジュールにより指定された U F 治療処方から変更された、前記現在日付について

50

の前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方の選択に関する入力を、患者から受信し、前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に代えて、前記患者により選択された U F 治療処方に基づいて前記少なくとも一つのポンプを制御して、腹膜透析治療を実施し、前記患者により選択された U F 治療処方が、現在の週または月について前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に代えて使用された回数、に関するカウンタをインクリメントし、

前記カウンタが前記アラーム閾値に達しているか否かまたは該アラーム閾値を超えているか否かを判定し、

前記カウンタが前記アラーム閾値に達しているかまたは前記アラーム閾値を超えている場合に、前記アラーム閾値に達したかまたは前記アラーム閾値を超えていることを示すアラームメッセージを、ネットワークを介して臨床医のコンピュータまたはサーバに送信する、

10

該論理インプリメンタと、
を備える腹膜透析システム。

【請求項 9】

前記論理インプリメンタが、前記患者が前記第 2 の U F 治療処方または前記第 3 の U F 治療処方を選択した場合にのみ、前記カウンタをインクリメントする、

請求項 8 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 10】

前記 U F 治療処方が更に、前記第 1 の U F 治療処方と比較してより短い持続時間とより高いデキストロース濃度とを有する第 4 の U F 治療処方と、前記第 1 の U F 治療処方と比較してより短い持続時間とより高いデキストロース濃度とを有する第 5 の U F 治療処方とを含む、

20

請求項 8 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 11】

前記腹膜透析治療が、周期的透析治療または連続循環腹膜透析（「CCPD」）治療のうちの少なくとも一つを含む、

請求項 8 に記載の腹膜透析システム。

【請求項 12】

少なくとも一つのポンプと、

30

第 1 の U F 治療処方、第 2 の U F 治療処方と、および第 3 の U F 治療処方とを含む限外濾過（「UF」）治療処方と、

どの U F 治療処方が特定の日付に実施されるかを示すスケジュールと、

所定の週または月について許容される U F 治療処方の変更のアラーム閾値と、

を記憶するメモリデバイスと、

前記メモリデバイスと通信可能に接続された論理インプリメンタであって、

現在日付を決定または特定し、

前記メモリデバイスに記憶された前記スケジュールを用いて、前記現在日付に基づいて前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方のうちの一つを選択し、

前記スケジュールにより指定された U F 治療処方から変更された、前記現在日付についての前記第 1、第 2、または第 3 の U F 治療処方の選択に関する入力を、患者から受信し、前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に代えて、前記患者により選択された U F 治療処方に基づいて前記少なくとも一つのポンプを制御して、腹膜透析治療を実施し、前記患者により選択された U F 治療処方が、現在の週または月について前記スケジュールにより指定された U F 治療処方に代えて使用された回数、に関するカウンタをインクリメントし、

40

前記カウンタが前記アラーム閾値に達しているか否かまたは該アラーム閾値を超えているか否かを判定し、

前記カウンタが前記アラーム閾値に達しているかまたは前記アラーム閾値を超えている場合に、前記アラーム閾値に達したかまたは前記アラーム閾値を超えていることを示すアラ

50

ームメッセージを、ネットワークを介して臨床医のコンピュータまたはサーバに送信する、

該論理インプリメンタと、
を備える腹膜透析システム。

【請求項 13】

特定の日付についての前記UF治療処方を選択に関して前記患者からカレンダー入力を受け付け、該カレンダー入力をネットワークを介して臨床医のコンピュータまたはサーバに送信するユーザインターフェースデバイスを更に備える請求項12に記載の腹膜透析システム。

【請求項 14】

前記論理インプリメンタが、
前記臨床医のコンピュータまたは前記サーバが、(a)前記カレンダー入力の承認を受信したか、または(b)少なくとも一つの日付についての前記選択されたUF治療処方の修正を受信した後に、前記ネットワークを介して前記臨床医のコンピュータまたは前記サーバから前記スケジュールを受信し、
前記スケジュールを前記メモリデバイスに記憶する、
請求項13に記載の腹膜透析システム。

【請求項 15】

前記ユーザインターフェースデバイスが前記論理インプリメンタと通信可能に接続された、
請求項13に記載の腹膜透析システム。

【請求項 16】

前記スケジュールが、後続の腹膜透析治療を実施するための液体容器を前記患者に配達する時期を決定するための前記サーバの在庫追跡特徴と統合された、
請求項13に記載の腹膜透析システム。

【請求項 17】

少なくとも一つのポンプと、
第1のUF治療処方、第2のUF治療処方と、および第3のUF治療処方とを含む限外濾過(「UF」)治療処方と、
どのUF治療処方が特定の日付に実施されるかを示すスケジュールと、
所定の週について許容されるUF治療処方の変更の制限と、
を記憶するメモリデバイスと、
前記メモリデバイスと通信可能に接続された論理インプリメンタであって、
現在日付を決定または特定し、
前記メモリデバイスに記憶された前記スケジュールを用いて、前記現在日付に基づいて前記第1、第2、または第3のUF治療処方のうちの一つを選択し、
前記スケジュールにより指定されたUF治療処方から変更された、前記現在日付についての前記第1、第2、または第3のUF治療処方の選択に関する入力を、患者から受信し、
前記患者により選択されたUF治療処方が、前記スケジュールにより指定されたUF治療処方に代えて腹膜透析治療を実施するために使用された回数、に関するカウンタをインクリメントし、
前記カウンタが、前記許容されるUF治療処方の変更の制限未満であるかどうかを判定し、

前記カウンタが前記制限未満である場合に、前記スケジュールにより指定されたUF治療処方に代えて、前記患者により選択されたUF治療処方に基づいて前記少なくとも一つのポンプを制御して、腹膜透析治療を実施する、
該論理インプリメンタと、
を備える腹膜透析システム。

【請求項 18】

前記論理インプリメンタが、

10

20

30

40

50

前記カウンタが、前記許容されるUF治療処方の変更の制限に達しているか否かまたは該制限を超えているか否かを判定し、

前記カウンタが前記制限に達しているかまたは前記制限を超えている場合に、前記患者により選択されたUF治療処方を使用する代わりに、前記スケジュールにより指定されたUF治療処方に基づいて前記少なくとも一つのポンプを制御して、前記腹膜透析治療を実施する、

請求項１７に記載の腹膜透析システム。

【請求項１９】

特定の日付についての前記UF治療処方の選択に関して前記患者からカレンダー入力を受け付け、該カレンダー入力をネットワークを介して臨床医のコンピュータまたはサーバに送信するユーザインターフェースデバイスを更に備える請求項１７に記載の腹膜透析システム。

10

【請求項２０】

前記論理インプリメンタが、

前記臨床医のコンピュータまたは前記サーバが、（a）前記カレンダー入力の承認を受信したか、または（b）少なくとも一つの日付についての前記選択されたUF治療処方の修正を受信した後に、前記ネットワークを介して前記臨床医のコンピュータまたは前記サーバから前記スケジュールを受信し、

前記スケジュールを前記メモリデバイスに記憶する、

請求項１９に記載の腹膜透析システム。

20

30

40

50